

コード	名 称	区分	コード	名 称	
事業名	1119-2 美術展覧会推進経費(子ども文化フェスティバル)	会計	01	一般会計	
		款	02	総務費	
		項	01	総務管理費	
		目	07	文化振興費	
		細目	128	文化振興経費	
基本	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	細目	51	美術展覧会運営経費
行革大綱の重点事項番号	7		細々目	51	美術展覧会運営経費
担当部署	コード	11300		担当者	22 - 9621
	名称	企画総務部企画課		氏名	福島 礼子 連絡先 (内線) 2115

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市内の 幼稚園(保育園)児及び小中学生	※対象件数
成果(どうする)	美術・創作・音楽・スポーツ・多文化理解などの文化活動を通して、子どもたちが興味・関心を持って楽しみながら学び、創造性を育む機会が提供される。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 17 年度	関連事業
終了年度	平成 22 年度	
H21 事業内容	伊賀市の公立幼稚園・小中学校に勤務する者で組織構成されている伊賀市教育研究会に委託し、その会員の中で、実行委員会を組織し、運営を行った。 夏休み期間中に伊賀市立青山小学校において実施した。(実施日 7/25) * 子どもたちの創作活動を中心としたものを7ブース * 実験・スポーツなどの体験から学ぶものを8ブース * 親る・聞くことを通じて感性を高めるものを2ブース	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
実行委員会		回	目標	3	目標	3
			実績	3	実績	3
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
参加者数		参加することにより創造性を豊かにする	人	目標	1000	目標	1100
				実績	1400	実績	1100
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計(A)	808	750	680	680
Aの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	0	0	0	0
一般財源	808	750	680	680
事業投入人件費(B)	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
フルコスト(A)+(B)	1,528	1,470	1,400	1,400

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
効果性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
達成度	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	子どもたちの文化意識を高める機会を貴重と考え、委託を継続する。 毎年、伊賀市のいろいろな地域で会場を設定する。交通の利便性も考慮し入場者数を増やしていく。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 伊賀市のいろいろな地域で会場を設定することにより、たくさんの子どもたちが参加できるよう考慮した。 21年度は、青山小学校で開催。施設・設備の面で充実しており、来場者は満足していた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	増田 基生
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 子どもたちが芸術文化に触れることは大切であり、興味を持って参加することにより、文化意識を高める。
現時点における課題、その他	継続した事業展開。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	子どもたちの文化意識を高める機会を貴重と考え、委託を継続する。 毎年、伊賀市のいろいろな地域で会場を設定する。交通の利便性も考慮し入場者数を増やしていく。